

不祥事根絶に向けた取組

ひたちなか市立外野小学校

教職員による不祥事は、県民の学校教育への信頼を著しく低下させる原因となっており、なんとしても根絶しなければなりません。そこで、本校では不祥事根絶に向けたコンプライアンスと厳正な校務執行のための教職員の意識改革や職場風土の改革をすべく、下記のように取り組んでいます。

1 コンプライアンス研修を定期的実施しています。

不祥事は、わいせつ、盗撮、セクハラ、体罰、公金の不適切な処理、飲酒運転、情報漏洩、交通事故等々多岐にわたります。これらの各事案について、ボトムアップ式のコンプライアンス研修会を年間計画に基づいて定期的実施しています。グループ討議やロールプレイング等の手法を取り入れながら具体的な防止策を互いに提案し、自分事として考えられるよう取り組んでいます。

2 不祥事ごとにチェックリストを作成し、職員が定期的点検しています。

不祥事防止について職員が自分事として考えられるよう、チェックリストを作成し、定期的点検しています。不祥事の原因は何か、自分の行動や意識に問題は無いかな等を明確に把握することで、自己啓発を図っています。

3 不祥事関連の通知文や記事等を利用し、様々な事例を職員全体で共有しています。

不祥事の内容と対象職員の処分内容等について県教委や市教委からの通知文や記事等から、それを職員が自分自身や自校の問題に置き換えて考え、具体的な防止策を講じることができるようになっています。

4 管理職による職員との個人面談を重視し、悩み等の解決のための支援を行っています。

職員のストレスや個人的な悩みが不祥事の遠因にならないよう、管理職が職員一人一人との面談や日頃の会話を通して、解決法を助言したり相談に応じたりするなどきめ細かに職員を支援しています。また、悩みを一人で抱え込まない、気軽に相談できる風通しの良い職場風土をつくって参ります。

外野小学校では、不祥事の根絶のため、職員一人一人が自分事として捉え、自覚と努力を継続していけるよう、全職員一丸となって取組を継続して参ります。